

(注) 本月報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

ベナン月報(2018年7月)

主な出来事

【内政】

- 24日、国民議会は、ジェノンタン議員、アタオ議員及びバコ議員の不逮捕特権を剥奪する決定を下した。

【外政】

- ニューヨークの国連本部で開催された持続可能な開発目標(SDGs)ハイレベルフォーラムにおいて、ベナン代表団を率いたピオ・チャネ計画・開発大臣は、グテーレス事務総長と会談した。

【経済】

- 5日、計画・開発省において、学校給食計画に関わるラウンドテーブルが開催された。パートナー国及び機関は、今後4年間で280億 FCFA を拠出することを約束した。2018年9月の新年度開始に合わせ、新たにベナン全国1,600の小学校が当計画の対象となる。現在学校給食は2,566校で展開され、普及率31%であるが、今次計画により51%まで向上するとのことである。日本、中国、米国、イスラム開発銀行及び世界銀行が支援を発表している。
- 5日、S&P グローバル・レーティング社は、ベナンのソブリン格付けを2011年以来継続されていた「B, 安定的」から「B+, 安定的」に上方修正すると発表した。同社は、ベナンの2018年～21年の経済成長率を6.3%と予測し、国内総生産に対する債務割合は2015年には7.6%であったものが4.0%に削減され、国内総生産に対する対外債務も21年には50%から43%に低減すると予測している。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'économiste 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 3日、国民議会において103条からなる放牧法(Code pastoral)が成立した。国境を跨いでの生活をしている遊牧民への対応に加え、農民と主にプル族の放牧民間でしばしば起こる衝突等の問題の緩和を狙ったものである。(4日、La Nation 紙)
- ・ 24日、国民議会は、ジェノンタン議員、アタオ議員及びバコ議員の不逮捕特権を剥奪する決定を下した。(25日、La Nation 紙)
- ・ 25日、閣議において、コティ(M. Cry KOTY)前インフラ・運輸大臣は、在キューバ・ベナン大使に任命された。(26日、La Nation 紙)

- ・ 30日、ベナン国民議会は国勢調査(Ravip)実施後、出生証明書を有していない無戸籍者を対象に戸籍を与える特別法を採択、可決した。(31日、La Nation 紙)

【外政】

- ・ 9-11日、コトヌにおいて、ベナン・トーゴ両国による第6回海洋境界策定に関する混合委員会が行われた。両国は大陸棚を10,000平方km拡大する旨国連に提案すること決定した。(12日、Le Matinal 紙)
- ・ ニューヨークの国連本部で開催された持続可能な開発目標(SDGs)ハイレベルフォーラムにおいて、ベナン代表団を率いたビオ・チャネ計画・開発大臣は、グテーレス事務総長と会談した。同事務総長は、ベナン政府のSDGsへの取組みを評価した。同フォーラムにはトナト生活環境・持続的発展大臣も参加した。(20日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 28-29日、トーゴの首都ロメにおいて、中部アフリカ諸国経済共同体(CEEAC)と西アフリカ諸国経済共同体(CEDEAO)の共催で安全、安定及びテロに関する会議が行われた。ベナンからはアベノンシ外務・協力大臣及びラフィア内務・治安大臣が参加し、諸国が連携して脅威に対処する必要性を強調した。(31日、La Nation 紙)

【治安】

- ・ 6月30日、タンゲタ市のチャンワサガ(Tchanwasaga)村において、プル族のキャンプ地が土地所有者と思われる人物により破壊された。200万 FCFA と家畜の一部が盗難され、5歳と6歳の男児が行方不明、複数人が怪我を負った。(5日、La Nation 紙)
- ・ 10日、パラク第一審裁判所は、6月13日に象牙密輸で逮捕されていた被告5名に対し判決を下した。3名に対し24か月の禁固刑、2名に対し執行猶予付懲役12か月が言い渡された。(11日、Le Matinal 紙)
- ・ 10日、共和国警察はボイコンにおいて、刃物、インド大麻及びバイク4台を盗んだとして、17人の強盗犯を逮捕した。(13日、Le Matinal 紙)
- ・ 11日、ベナン北部のコブリ(Cobly)市ダトリ(Datori)地区において、農民と移牧民との間で衝突があり10歳以下の子供2人を含む5人が死亡した。また、1,500名以上が復讐を恐れて避難した。(12日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 12日、共和国警察は記者会見を行い、4日～11日の間に、教会の聖櫃及び楽器を盗難した等、2件の強盗事件、サイバー犯罪3件を検挙した旨発表した。(13日、Le Matinal 紙)
- ・ 16日、組織的詐欺の容疑で国際手配され、5月30日にトーゴで逮捕されていた容疑者1名がベナンへ送還された。(17日、Le Matinal 紙)
- ・ 17日、コトヌ第一審裁判所は、6月11日に象牙4本6Kgを不法に販売したとして逮捕された被告6名に対し、禁固3か月、罰金50,000FCFA、賠償金500万 FCFAの支払いをそれぞれ命じた。(18日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 23日、ウィダ第一審裁判所は、ベナンのある地域の王とその共犯者5名の計6名に対し、象牙密輸の罪で罰金50万 FCFA 及び損害賠償1,000万 FCFAの支払いと24か月の禁

国の判決を下した。(25日, Le Matin Libre 紙)

【経済】

- ・ 5日, 計画・開発省において, 学校給食計画に関わるラウンドテーブルが開催された。パートナー国及び機関は, 今後4年間で280億 FCFA を拠出することを約束した。2018年9月の新年度開始に合わせ, 新たにベナン全国1,600の小学校が当計画の対象となる。現在学校給食は2,566校で展開され, 普及率31%であるが, 今次計画により51%まで向上するとのことである。日本, 中国, 米国, イスラム開発銀行及び世界銀行が支援を発表している。(6日, L' économiste 紙)
- ・ 5日, S&P グローバル・レーティング社は, ベナンのソブリン格付けを2011年以来継続されていた「B, 安定的」から「B+, 安定的」に上方修正すると発表した。同社は, ベナンの2018年~21年の経済成長率を6.3%と予測し, 国内総生産に対する債務割合は2015年には7.6%であったものが4.0%に削減され, 国内総生産に対する対外債務も21年には50%から43%に低減すると予測している。(9日, Le Matinal 紙)
- ・ 6日, 彭(M. Peng JINGTAO)在ベナン中国大使は, 寧夏回族自治区(Ningxia)の医療チームのベナンへの派遣40周年に際しレセプションを実施した。アベノンシ外務・協力大臣, ウンパティン保健大臣及びヌアティン大統領付国防担当副大臣らが参加した。同医療チームの派遣は1978年にスタートしこれまで22回, 573人の医師がベナンを訪問し, 5万件の外科手術を含む300万人が治療を受けた。また, それに際し3人の中国人医師がベナンで命を落としたと彭大使は述べた。(9日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 中国はパラク病院に対して, CTスキャンなど総額約8億 FCFA の医療機器を供与した。コトヌにおいて, 会見が行われ彭在ベナン中国大使及びヌアティン大統領付国防担当副大臣が参加した。(18日, L' économiste 紙)
- ・ 12日, ファーウェイテクノロジー社は, 第三回「未来の種 (grains du futur)」計画の開始式を行った。同計画により選抜されたベナン人10名は中国ファーウェイ本社にて研修を行う。ズマル情報通信大臣, アベノンシ外務・協力大臣及びアタナソ高等教育・科学研究大臣が出席した。(13日, La Nation 紙)
- ・ アフリカのための経済委員会(Cea)の報告書「Profil pays 2018」によると, ベナンの就労人口の72%が不完全雇用, 失業率は2.4%であるとした。人口増加率は3.5%, 人口の46.7%が15歳以下である。(13日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 24日, ウンパティン保健大臣は日本の技術者により建設されたアラダ病院を視察し, 同病院の引渡を8月21日に行う旨, また, 引渡が行われる以前の8月10日には一部開院する旨発表した。(25日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 26日, ロコサ市役所において, ベルギー開発庁(ENABEL)は, アタコラ県, ドンガ県, クッフオ県及びモノ県の農業関連30案件9億 FCFA の支援を発表した。ドスウイ農業・畜産・漁業大臣が出席した。(27日, La Nation 紙)
- ・ 27日, アボメカラビ市に WIFI を完備した BéninTaxi60台が導入された。電話番号130番

で手配することが出来る。(30日, L' Evénement Précis 紙)

- ・ 28日, 世界肝炎対策デーに際し, ウンパティン保健大臣は, ベナンの感染患者の95%以上を特定し, 80%に対しての治療を目標としている旨述べた。2013年の調査でベナン人の9.9%はB型, 4.1%はC型肝炎に罹患しているとみられている。全国民の約14%, 140万人に該当する。(30日, La Nation 紙)

【文化・その他】

- ・ 15日, バカロレアが実施され106,499名(うち女子35,589名)が受験した。(17日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 21-22日, ジジャ市キティグド村で大雨の影響により唯一の橋が倒壊, 村が孤立した状態となった。この影響で病気の幼児が病院に搬送できず死亡した。橋の再建は予算不足により2019年となる見込みである。(24日, La Nation 紙)
- ・ 17日, アベノンシ外務・協力大臣は, アゼマ国際ペタンク連盟会長とイブラヒマ・アフリカ球技連盟会長と会談した。本年12月にベナンで開催されるペタンク国際大会の成功に向けて協力する旨述べた。(20日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ イタリアの NGO の We world は, ウエメ県及びプラトー県で展開している「Apprendre II」の一環で, Akpro-Missérété 市で出生証明書を有していない小学生51名に対し証明書を配布した。年間で658名の証明書が発行されるとしている。(30日, La Nation 紙)